

ウダヤナ大学への協定留学 月例報告書 (2023年5月分)

留学先大学：ウダヤナ大学人文学部日本文学学科

氏名：森下千裕

日中はカラッと暑く、夜は涼しい乾季の訪れを感じます。昼間でも日陰では涼しい風がなびき、夜もエアコン要らずの快適な季節です。

今月は、大学での授業に加えて、いつも以上に課外活動である芸能の習得に勤しみました。普段は一人で楽器や舞踊の稽古を受けていますが、日本から舞踊の仲間が短期で訪れていたり、6月中旬から始まるバリ芸術祭に向けた練習を見学したりと、さまざまな人と接しながら芸能を学ぶことができました。

◎大学生活

相変わらず、履修している授業に参加しています。基本的にはバリの南部に位置する新しいキャンパスで授業が行われることになっていますが、日本のように毎週同じ時間に同じ場所で授業が行われるかという点、そうもいかないというのがここでのスタイルのようです。授業の前日になると、クラスのグループチャットにて、翌日の授業の開始時刻や場所についての質問や確認事項が飛び交います。クラス代表の学生が、それぞれの授業の先生に直接連絡を取り、グループチャットにてスケジュールを共有する、というのが毎日の流れです。しかし先生からのスケジュール通りにいかないことも多く、授業当日に突如オンライン授業に変更されたり開始時間が変更されたりすることもしばしばです。特に5月は1度しかキャンパスでの授業がありませんでした。そのため、大学の友人と直接顔を合わせることもほとんどありませんでした。こうしたことが日常茶飯事ということがよくわかりましたが、他のスケジュールを立てづらいことには苦労しますし、友人たちとなかなか会えないことも少し寂しく感じます。

◎課外活動

今月も舞踊とガムラン音楽の習得のための練習を続けています。

舞踊に関しては、以前バリの同じ舞踊教室で知り合った日本人の舞踊仲間が短期で滞在していたことから、普段は練習することができないペアでの舞踊をたくさん習うことができました。2人での練習は、動きの合わせ方やフォーメーションなど、1人の練習とは違う意識を持たなければなりません。非常に貴重で有意義な練習となりました。

また6月の中旬からは、年に一度、約一か月間に渡って開催されるバリ芸術祭があります。舞踊の先生は、今回は楽器の演奏者としてこの芸術祭に出演するようで、練習も本格的に始まっています。週に2.3回の練習を見学させてもらっていますが、見たり聴いたりすることでも勉強になることがたくさんあり、こちらも非常に良い経験となっています。



↑ペアでの舞踊練習

特に仮面舞踊では視界がかなり遮られるため、二人で合わせることでよりむずかしくなります。



↑芸術祭に向けての合奏練習

年配の女性によるグループの代表として芸術祭に出演するそうです。